環境県民局 資　　料	Ｎｏ．14

令和８年 11 月 19 日
課　名　環境県民局自然環境課
担当者　課長　栗栖
内　線　2930

令和８年度ツキノワグマの出没状況及び出没対策について

１　要旨

ツキノワグマの活動が最も活発となる時期を迎え、県民への注意喚起などにより安全確保に努めるため、本県におけるツキノワグマの出没状況、被害状況及び出没対策の取組状況を報告する。

２　ツキノワグマについて

広島県に生息しているツキノワグマは、島根県及び山口県にまたがり広域的に生息しており、令和７年度に３県での生息頭数を調査した結果、690 頭から 1,290 頭の間（中央値 950 頭）であると推定され、安定的な個体数が維持されていると考えられる。

一方、人家周辺への出没が増加し、人とツキノワグマの軋轢が深刻化していることから、県民の安全を最優先に、地域の関係者の協力を得ながら、集落に出没した危険な個体の迅速な捕獲など安全の確保に努めているところである。

３　出没（目撃）状況

令和８年４月～10 月末のツキノワグマの目撃件数は 648 件であり、平年よりも多くなっている。（過去 10 年間（4 月～10 月）における平均目撃件数 543 件）

また、ツキノワグマの主要な餌食物である堅果類（ドングリ等）の豊凶状況については、令和７年度ほどではないものの、概ね豊作と言える。

（単位：件）

項目／年度		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目撃件数 （広島県）	年　間	483	724	789	592	－
	4～10 月	394	499	639	400	648
〔参考〕 堅果類豊凶 調査結果 （広島県）	ミズナラ	×	×	◎	◎	×
	コナラ	◎	○	◎	◎	◎
	シバグリ	◎	◎	◎	◎	◎
	アラカシ	○	◎	◎	◎	○
	シラカシ	◎	◎	◎	◎	◎
	クマノミズキ	○	○	○	◎	○

（注）目撃件数は、痕跡の発見件数やツキノワグマと推定される動物に係る住民からの通報件数を含む。
（注）ツキノワグマの主要な餌食物である堅果類（ドングリ等）の豊凶状況について、広島県、島根県及び山口県の西中国地域で参考指標として調査を実施。◎：豊作、○：並作、×：凶作

４　被害状況

ツキノワグマによる人身被害は、令和４～６年度は発生していないが、令和７年７月に北広島町で１件発生している。

（単位：件）

区　分	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
人身被害	0	0	0	1	0

（注）令和８年度は 10 月末時点。

５　本県におけるツキノワグマ出没対策について

（１）緊急銃猟制度

○　令和７年９月１日に施行された改正鳥獣保護管理法においては、緊急銃猟制度が創設され、
①クマ等の危険鳥獣が人の日常生活圏に侵入し、または侵入するおそれが大きい場合に、
②人の生命・身体への危害を防止する措置が緊急に必要であり、
③銃猟以外の方法では捕獲等をすることが困難であり、
④地域住民等に弾丸が到達するおそれがない場合
には、市町長の判断で危険鳥獣の銃猟を捕獲者に委託して実施することが可能となった。

○　緊急銃猟の実施に向け、市町が体制を整備し安全に対応できるよう、次の取組を実施している。
・市町・県・警察を対象とした座学研修の開催（４月実施済み）
・市町・県・警察・捕獲者を対象とした実地訓練の開催（３箇所、計３回実施）
・市町における体制整備状況の聞取り及び市町間の共有
・備品購入や捕獲者への謝金等、緊急銃猟の実施に要する経費の補助

（２）その他の対策

○　出没時の被害防止対策
・クマレンジャーによるパトロール、追い払い
・人身被害防止を目的とした捕獲の許可
・市町、警察等を対象とした出没対応時の安全確保に関する研修会の開催
・市街地に出没した際の ICT カメラによる監視、県ホームページや X 等による注意喚起　など
※　注意喚起のリーフレットは別紙１のとおり。

○　遭遇時の対処方法に関する正しい知識の普及
・学校や地域を対象とした遭遇時の対処方法に関する学習会の開催

○　市街地等に出没しない環境づくり
・柿の木などツキノワグマを誘引する果樹等の除去に取り組む市町への財政的支援

別紙１

ツキノワグマの被害を防ぐために

ツキノワグマの分布範囲



西中国山地（島根県・広島県・山口県）に生息するツキノワグマは、西中国地域個体群として、他地域から孤立しています。
かつては個体群の存続が危機的な状況になっていましたが、近年では生息数及び分布域ともに安定しています。

人身被害を防ぐために

ツキノワグマは人とばったり出会うと、自身や子グマを守るために攻撃することがあります。

クマがよく活動する時間帯

森で暮らすクマは昼行性ですが、人里へ下りて活動する時には夜行性になることが知られています。夕方や早朝に活発になると言われていますので、特に注意しましょう。

クマと出会わないために

クマは耳がよいため、山に入る場合は、鈴やラジオなど音が出るものを携帯しましょう。雨の日や沢沿いは音が伝わりにくいので、意識して大きな音を出しましょう。また、山菜採りなどではクマへの注意が散漫になるので気をつけましょう。

もし出会ってしまったら



▶ クマがこちらに気づいていない場合

- 気づかれないように静かにその場から立ち去りましょう。

▶ クマがこちらに気づいている場合

- クマとの距離が十分にある場合は、ゆっくりと後ずさりして逃げましょう。背中を向けて走って逃げると、本能的に追いかけてくることがあります。

▶ 至近距離でクマに遭遇した場合

- 攻撃されそうになったら、両腕で顔や頭を覆い、うつ伏せになるなどしてダメージを最小限にとどめることが重要です。クマは一撃を与えた後すぐに逃げることが多いとされています。

子グマを見かけたら 近くに母グマがいます。絶対に近づかないで速やかに立ち去りましょう。

西中国山地ツキノワグマ保護管理対策協議会